

1 調査日 平成 28 年 7 月 13 日（水）

2 調査の概要

（1）彦根市立鳥居本中学校（彦根市）

県教育委員会では、全国学力・学習状況調査の結果において、小学校、中学校ともに、基礎、基本を身につけさせることや問題を読む力や書く力などの言語力の育成が課題となったことなどから、平成 27 年 3 月に「学ぶ力向上 滋賀プラン」を策定し、児童生徒の学力向上に係る各種事業に取り組んでいるところである。

彦根市立鳥居本中学校は、ＩＣＴ活用推進モデル事業において県内の小中高で 1 校ずつ選定されたモデル校のうちの中学校であり、学ぶ意欲や情報活用能力を高める授業、協働型・双方向型の学習の一環としてＩＣＴを活用した授業を実施しており、また、平成 27 年度より小中一貫型小中学校「鳥居本学園」としてスタートするなど、特色のある取り組みを行っている。

ついては、同校におけるＩＣＴを活用した授業、小中学校の連携等の取り組みについて調査を行った。



（２）近江八幡警察署（近江八幡市）

近江八幡警察署は老朽化に伴う建て替え工事が行われ、平成 28 年 2 月に新築移転したところである。

ついては、建て替え前の課題がどのように解消されたのかを検証するとともに、今後の他の警察署の整備計画や予算についての審査の参考に資するため、新庁舎へ移転後の状況について調査を行った。



（３）北里駐在所（近江八幡市）

北里駐在所は、昭和 59 年に建築された駐在所で、来庁者用トイレや相談室がなく、老朽化・狭隘化が著しい。

ついては、今後の交番・駐在所の整備計画や予算についての審査の参考に資するため、北里駐在所の現状について調査を行った。

